

# 瀬の路

Vol.28

SEA ROAD 2016

- 巻頭言 ..... P.1
- 平成27年度総会 ..... P.2・3
- 平成27年度担当者会 ..... P.4~6
- 環境事業委員会活動 ..... P.7~9
- 魅力検討委員会活動 ..... P.10~12
- 防災委員会活動 ..... P.13~14
- 情報発信委員会活動 ..... P.15
- 瀬戸内海活性化活動支援報告 ..... P.16
- 瀬戸内海クルーズ推進活動支援報告 ..... P.17~19
- 後援活動報告 ..... P.20
- 第9回瀬戸内海首長サミット ..... P.21・22



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

## 会員構成

### 大阪ブロック

大阪府	泉佐野市
大阪市	泉南市
堺市	阪南市
岸和田市	忠岡町
泉大津市	田尻町
貝塚市	岬町
高石市	

### 徳島ブロック

徳島県	小松島市
徳島市	阿南市
鳴門市	松茂町

### 香川ブロック

香川県	三豊市
高松市	土庄町
丸亀市	小豆島町
坂出市	直島町
観音寺市	宇多津町
さぬき市	多度津町
高石市	東かがわ市

### 兵庫ブロック

兵庫県	相生市
神戸市	加古川市
姫路市	赤穂市
尼崎市	高砂市
明石市	南あわじ市
西宮市	淡路市
洲本市	たつの市
芦屋市	播磨町

### 愛媛ブロック

愛媛県	伊予市
松山市	四国中央市
今治市	西予市
宇和島市	上島町
八幡浜市	松前町
新居浜市	伊方町
西条市	愛南町
大洲市	

### 和歌山ブロック

和歌山県	湯浅町
和歌山市	広川町
海南市	日高町
有田市	由良町

### 岡山ブロック

岡山県	笠岡市
岡山市	備前市
倉敷市	瀬戸内市
玉野市	浅口市

### 広島ブロック

広島県	大竹市
広島市	東広島市
吳市	廿日市市
竹原市	江田島市
三原市	海田町
尾道市	坂町
福山市	大崎上島町
	平生町

### 国会員

近畿地方整備局	九州地方整備局	中国運輸局
中国地方整備局	近畿運輸局	四国運輸局
四国地方整備局	神戸運輸監理部	九州運輸局

## 航路情報提供Webサイト 「みなとナビせとうち」

<http://www2.uminet.jp/top/>



QRコードで携帯から簡単アクセス  
<http://www2.uminet.jp/knavi.jsp?cd=i>

### みなとナビ広島

<http://www2.uminet.jp/>

「みなとナビ Hiroshima」は広島港を発着するフェリー、旅客船の運航状況など、港を利用する方に役立つ情報を提供するWebサイトです。

### みなとナビ三原・尾道

<http://www2.uminet.jp/mihara/>

「みなとナビ 三原・尾道」は三原港および尾道港を発着するフェリー、旅客船の運航状況など、港を利用する方に役立つ情報を提供するWebサイトです。

### みなとナビ高松・宇野

<http://www2.uminet.jp/takamatsu/>

「みなとナビ 高松・宇野」は高松港および宇野港を発着するフェリー、旅客船の運航状況など、港を利用する方に役立つ情報を提供するWebサイトです。

## 協議会Webサイト「海の路」

<http://www.uminet.jp/>



海の路

Vol.28

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

発行/瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会事務局

協議会Webサイト「海の路」<http://www.uminet.jp/>

みなとナビせとうち <http://www2.uminet.jp/top/>

愛媛県今治市来島海峡大橋

# 卷頭言



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 会長  
おばな まさひろ  
和歌山市長 尾花 正啓

寄稿

会員の皆様におかれましては、平素より瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動にご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年5月、広島県福山市にて開催いたしました瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会平成27年度総会及び第9回瀬戸内海首長サミットには、瀬戸内沿岸各地域より総勢23市町の首長をはじめ、近畿・中国・四国・九州から多くの関係者の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。

本総会では、平成26年度の事業・収支決算報告と平成27年度の事業計画・予算案などが議論され、瀬戸内地域の交流・連携・地域振興・防災にかかる支援制度の活用などについて決議されました。

また、首長サミットでは、「クルーズ振興のための連携促進に向けて」をテーマに議論を行い、瀬戸内の多島美を活かした独自のクルーズ文化の確立や、瀬戸内の魅力のさらなる発信等について活発な意見交換が行われました。

近年、内航クルーズのみならず、外航クルーズが増えているなか、こうしたクルーズ船の寄港を地域の活性化に繋げていき、瀬戸内全体を

## 平成27年度総会

平成27年5月22日 広島県福山市

平成27年5月22日(金)広島県福山市にて、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 平成27年度総会を開催いたしました。総会には、瀬戸内海沿岸各地から23市町の首長と会員である各自治体及び地方整備局等の担当者約160名が参加して開催されました。

第1部の総会では、平成26年度の事業・収支決算報告と今年度の事業計画・収支予算案等について審議を行い、第2部では、「瀬戸内海の魅力発信によるクルーズ振興が地域を変える」と題して、大阪大学大学院教授 赤井伸郎氏よりご講演をいただきました。第3部では、第9回瀬戸内海首長サミットが22市町の首長参加により開催されました。サミットは、「クルーズ振興のための連携促進に向けて」をテーマとし、地方創生にとって観光が切り札的存在となっているという認識の下、瀬戸内の観光にとって欠かせないクルーズの振興を連携して促進させるためには、具体的にどのようなことが必要か等について議論を行いました。

### 第1部 総会議事

総会の開会にあたり、協議会前会長である入山 欣郎 大竹市長より、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」については、この5月末で70の締結会員にまで拡大し、昨年6月には、60会員の参加による情報伝達訓練と、初めて船舶を利用した緊急支援物資輸送訓練が呉市と松山市との間で実施された。「受け継ぐ、きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉として活動している、「リフレッシュ瀬戸内」について



入山 欣郎 大竹市長



総会の様子

は、海岸周辺の清掃を中心にも多くのボランティアの皆さんの協力のもと、今年度で23年目となった。瀬戸内海の多島美は海外の方にも人気がある上、近年クルーズ人口が拡大してきており、協議会の支援活動を通じて会員同士の連携強化を図っていくことが重要である。協議会のより「層の活性化のため、会員の皆様においては協議会活動への理解と協力をよろしくお願いいたします。」との開会の挨拶をいただきました。

続いて、来賓挨拶として、高垣 広徳 広島県副知事より、「地域振興活動に対する支援や、協議会活動の大きな柱となっている「リフレッシュ瀬戸内」、呉市と松山市の間で実施された緊急支援物資輸送訓練等、協議会の多くの取り組みにより、観光・環境・防災の多岐にわたる視点から、地域住民と自治体及び国の機関が連携し様々な活動が行われている。広島県では「瀬戸内・海の道構想」を掲げ、瀬戸内ブランドの浸透・定着のためのプロモーションや、観光プログラムの充実を図っている。こうした瀬戸内の活性化や振興を図っていく上で、地域の交流、連携等の活動を支援する協議会の果たす役割が大きくなるものと期待している。」との挨拶をいただきました。

続いて、松原 裕 國土交通省大臣官房審議官より、「今年は海の日が出来て20年目を迎える。政官をあげて海の日の関連行事を行うことで、国民の方々に海の魅力を改めて知っていただきたく様々な企画を行っている。また瀬戸内海を共通の海とする首長の方々に、サミットを通して大いに議論していただき、良い成果を上げていただけたらと思う。」との挨拶をいただきました。

そして、最後に地元開催市である、羽田 皓 福山市長より、「本日は、



松原 裕 國土交通省大臣官房審議官

広域観光圏としての連携拡大に繋がればと思います。

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」についての最近の取り組みとして、協定の実効性の確保と向上を図るために、平成27年6月11日、60締結会員の参加により連絡体制の確立と迅速な応援が可能となるよう情報伝達訓練を実施しました。

また、「防災対策推進活動支援事業」では、江田島市と広島県からの申請により救援物資配送訓練が実施され、会員相互の連携により大規模災害に備えた海上輸送の実効性を高める取り組みを行うことができました。

そして、「リフレッシュ瀬戸内」は、本協議会の骨格事業ですが、昨年も約4万8千人のボランティアの方々にご参加いただきました。

美しい海、美しい海岸を自身の手できれいにしていくという意識を高めて層の魅力発信により、更なる会員相互の絆と、連携を図りながら、瀬戸内地域全体の発展に取り組んで参りますので、皆様の益々のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 歴代会長

平成3年～平成6年 姫路市長 戸谷 松司
平成7年～平成10年 坂出市長 松浦 稔明
平成11年～平成14年 小松島市長 西川 政善
平成15年～平成17年 玉野市長 山根 敬則
平成17年～平成18年 玉野市長 黒田 晋
平成19年～平成20年 下関市長 江島 潔
平成20年 下関市長 中尾 友昭
平成21年～平成26年 大竹市長 入山 欣郎
平成27年～ 和歌山市長 尾花 正啓

松原審議官を始めとする国土交通省の皆様方、そして関係者の皆様方、各首長の皆様方、ようこそ福山市にお越し頂きました。日頃より港湾行政にご尽力いただき心から感謝を申し上げます。福山城は今でこそ天守閣を残すのみとなっているが、築城規模だった。福山城の堀は運河を伝わって海へつながつており、城下の商人たちはこれを用いて貿易を行い、現在、二つの重要港湾と三つの地方港湾、そして七つの漁港を持つ本市はまさに、海の恩恵を受けながら発展してきたと言える。今後も協議会の様々な活動を通じ、恵まれた環境を活用し、観光資源等のボテンシャルを活かしながら発展していきたい。また本市は来年市政100周年を迎える。その際には植栽本数100万本のバラのまち福山となって皆様をお迎えしたいと思つてはいる。」との歓迎の挨拶をいただきました。

総会議事については、議長に選出された、天満 祥典 三原市長。典 三原市長の議事進行により、平成26年度の事業収支決算報告、平成27年度の事業計画・予算案などの7議案について審議が行われました。平成27年度においては、瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互連携に関する協定の参加拡大、物資輸送訓練の実施、海ネットサポーターと連携した活動の推進や「リフレッシュ瀬戸内」にかかる全体拠点地での環境関連事業等の連携活動への支援、「海ネットイベントプランコンテスト」の試行、新会長に尾花正啓和歌山市長の選任や、平成28年度総会を大分県中津市で開催することなどが決議されました。その後第2部として、「瀬戸内海の魅力発信によるクルーズ振興が地域を変える」と題して、大阪大学大学院教授 赤井伸郎氏よりご講演をいただきました。



議長に選出された 天満 祥典 三原市長



羽田 皓 福山市長

ようなことが必要か、また、クルーズ船の寄港地における周辺地域も含めた「一体的な取り組みにはどのようなことが必要かについて議論を行いました。(議論の内容については21-22ページ参照)

翌5月23日(土)には、鞆の浦の視察を行いました。鞆の浦は瀬戸内海沿岸のほぼ中央に位置し、古くから風待ち、潮待ちの港として栄え、万葉集にも詠まれるなど、様々な歴史に彩られた港町です。町中には、江戸時代から明治・昭和初期の歴史的建造物が、城下の町割りとともに残されており、伝統的建築物が、城下の町割りとともに残されています。最近では、ハリウッド映画「ウルヴァリン」やドラマ「流星ワゴン」のロケ地、演歌「鞆の浦慕情」やアニメ映画「崖上のポニョ」の舞台となるなど、様々な方面で注目を集めています。

鞆の浦散策後、「平成いろは丸」によるミニクルーズを実施し、鞆の浦から弁天島と阿伏兎観音をクルーズしました。弁天島は鞆の浦と仙酔島との間にある小さな無人島で、鞆の浦を訪れた朝鮮通信使の日記にも「明秀奇絶」と記され、その景観が絶賛されています。瀬戸内海に初夏が訪れる5月の終わり、弁天島の空に花火が打ち上げられ、瀬戸内海の港町ならではの情緒を醸し出します。

阿伏兎観音は、約1000年前の西暦3年(992年)頃に花山法皇により建設されたと伝えられ、海上の安全を祈願する観音様が祀られています。鞆の浦散策やミニクルーズを通して、福山市に根付く文化や歴史について見聞を広めることができました。



鞆の浦の視察



第9回瀬戸内海首長サミットの様子



記者発表の様子

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 平成27年度担当者会の開催報告

### 開会

平成27年11月12日(木)～13日(金)の2日間、香川県東かがわ市にて、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 担当者会を開催しました。当日は約100名が参加し、今年度の活動報告や来年度の総会提案事項に向けた活動方針等について議論が行われました。また、13日に行われました現地視察では、ハマチ養殖体験学習「マーリング」、江戸時代の商家建築「讃州井筒屋敷」の視察を行いました。

担当者会の開会にあたり、当協議会の幹事長である、高橋 正浩 広島市都市整備局みどり振興課長より、「本年5月22日に広島県福山市において開催された総会及び第9回瀬戸内海首長サミットでは、22名の首長様に参加いただき、「クルーズ振興のための連携促進に向けて」をテーマに、地方創生にとって、観光が切り札的存在となっているという認識のもと、瀬戸内の観光にとって欠かせないクルーズの振興について建設的なご議論をいたしました。非常に有意義なものとなつた。本日の4つの実行委員会(分科会)においても率直な意見を出していくことによって、より中身の濃い議論が出来るものと期待している。」との開会挨拶をいただきました。

次に、開催地を代表して、藤井 秀城 東かがわ市長より、「東かがわ市は瀬戸内海の播磨灘に面しており、国の天然記念物に指定されている絹島やランプロファイヤー、産業においては国内90パーセントを占める手袋の産地、ハマチの養殖で初めて成功した地であり、多くの方に親しまれている。今後は自然環境をさらに活かした取り組みを瀬戸内海に面した市町と連携を図つて行きたい。協議会皆様方のご協力を頂いて実現させていくとともに、瀬戸内海の素晴らしい財産が世界中に光る地域となるよう期待している。」との歓迎の挨拶をいただきました。

続いて、事務局を代表して中国地方整備局港湾空港部 由木 誠 港湾物流企画室長より、「平成27年度の主な活動方針としては、○環境美化活動として、リフレッシュ瀬戸内や海の健康診断調査の実施、○海ネット協定の参加拡大やその実効性を担保するための情報伝達訓練等を実施、

○海ネットサポーターとの連携した活動の推進、○瀬戸内地域における地域振興のための取り組みが積極的に展開されました。一方、今日人口減少時代を迎え、地域活性化を図る地方創生が大きな課題となっています。そのような中、近年我が国へのクルーズ船の寄港数は増加傾向にあり、瀬戸内の多島美を活かした観光資源を発信することで、瀬戸内独自のクルーズ文化の確立、ひいては瀬戸内海の更なる発展が期待されます。そこで、第9回瀬戸内海首長サミットでは「クルーズ振興のための連携促進に向けて」をテーマに、海ネット会員同士が連携して「クルーズ振興」に取り組むには具体的にどの

地域における地域振興のための取り組みが積極的に展開されるよう支援制度等の推進、○Webサイト「海の路」を通じた情報発信について、Webサイトのアクセス解析によるコンテンツのさらなる充実に向けた検討など、会員の皆様方にはいろいろな具体的な取り組みにご尽力いただいている。次年度の具体的な取り組みについては、担当者の方々がこの後、開催される各実行委員会において、事務局からの具体的な提案に対し、より実効性の高い取組となるよう意見交換をして頂き、更なる海ネットの発展あるは瀬戸内海全体の更なる魅力の発信、ネットワークの強化につながるものと期待しております。」との挨拶を行いました。

また、今年度の「海ネットイベントプランコンテスト」の第2次審査が実施され、松山市、岬町、兵庫県の担当者よりイベント受賞者である防府市、岬町、兵庫県の担当者よりイベント実施報告が行われました。(防府市さん欠席のため代理で事務局より報告を行いました。)

続いて、昨年度の「海ネットイベントプランコンテスト」の第2次審査が実施され、松山市、岬町、兵庫県の3案について、各会員より概要説明を実施し投票を行いました。最優秀賞に輝いたのが松山市「さあ釣りを始めよう!ファミリー教室 in 中島」、優秀賞は湯浅町「紀州湯浅のギヨギヨつとお魚まつり」、奨励賞は福山市「ふくやま港まつり2016」がそれぞれ受賞しました。受賞の挨拶

事務局 由木 誠 港湾物流企画室長  
概要説明の様子 担当者会の様子



「平成いろは丸」によるミニクルーズ



鞆の浦の風景

として、松山市より「この一步が、港湾施設や船舶といったものの利用促進につながるように踏み出せたらと思う。」と本企画への意気込みを語っていました。

引き続き、魅力検討委員会、環境事業委員会、情報発信委員会、防災委員会の4つの実行委員会に分かれての議論が行われました。

第2部の全体会では、各実行委員会での議論の内容報告、及び平成28年度の活動内容についての方向性が提示されました。瀬戸内海地域の振興・発展・協議会活動を推進していく上でも、各種支援事業について積極的な申請をお願いしたいとの説明が事務局よりありました。

実行委員会においても担当者から活発な意見や質問がなされ、大変有意義な担当者会となりました。なお、魅力検討委員会、環境事業委員会、情報発信委員会、防災委員会での各議論の内容は以下のとおりです。

## 分科会

### 魅力検討委員会

魅力検討委員会では、「海ネットイベントプランコンテスト」の開票作業を行った後、平成27年度の活動状況と平成28年度の活動方針について話し合われました。

平成27年度の活動報告として、次のとおり事務局より説明がありました。

「海ネットイベントプランコンテスト」では、6月26日、10月14日にかけて、各会員にイベント企画の募集を行い、結果として全体で3件の応募が集まり、これらの応募企画について本日の担当者会にて行われた審査により受賞企画が決定しました。「瀬戸内・海の路利用振興事業」と「海ネットサポート提案事業」は、今年度も継続して募集を行っているところですが、「海ネットサポート提案事業」の1件の申請にとどまっています。

これらの活動内容に関連して、「海ネットイベントプランコンテスト」の継続実施「瀬戸内・海の路利用振興事業」及び「海ネットサポート提案事業」の活用促進について意見交換を行い、寄せられた意見をもとに来年度以降の活動に繋げていくことを確認しました。また、「海ネットイベントプランコンテスト」受賞者の栄誉を讃えるとともに、イベントのPRを図るため、総会の場における授賞式を行うことについて提案することとしました。

最後に、平成28年度の活動方針として、「海ネットイベントプランコンテスト」で選ばれた事業を積極的に支援するとともに、「瀬戸内・海の路利



情報発信委員会の様子

用を検討していくこととしました。

○主な現状の報告として、  
1.閲覧者数自体は減っているが、1人あたりの閲覧ページ数は増えていること。  
2.海外からのアクセスや外国人旅行客が増加しているなかで、多言語化の必要性を感じているが費用が多額であるため、単年度の経費では行えないこと。  
上記問題点に対し、今年度は「限られた予算の範囲で効果的に情報発信を行うには?」をテーマとして、事務局より対策案を提案し議論を行いました。

事務局の対策案として、HPをPRするための「ステッカー」を作成し、観光客や旅行客が訪れる観光スポットや施設に貼ることにより、「ますHPの訪問者を増加させる。」という案を提案し、出席された各委員より活発な議論・提案が行われました。  
28年度の活動方針は、アクセス解析によりステッカーの効果を検証し、ステッカーの効果が有効であれば、次のステップとして更なる情報発信方法を検討していくということで了承されました。

### 情報発信委員会



情報発信委員会の様子

情報発信委員会では、「海ネットHP閲覧者の増加に向けた取り組み」として、アクセスマーケティング解析結果から推測できる「海ネットHPの現状と問題点」を報告し、HPまたはHP以外の媒体を使い、より多くの方に情報発信を行うことができ、海ネットに対して興味をもついただけの方を検討しました。

○主な現状の報告として、

- 1.HPのPR不足による閲覧者数の減少。
- 2.スマートフォンやタブレットを利用した閲覧者の割合が増えていること。
- 3.海外からのアクセスが大幅に増えたこと。

上記問題点に対する、今年度は「限られた予算の範囲で効果的に情報発信を行うには?」をテーマとして、事務局より対策案を提案し議論を行いました。

事務局の対策案として、HPをPRするための「ステッカー」を作成し、観光客や旅行客が訪れる観光スポットや施設に貼ることにより、「ますHPの訪問者を増加させる。」という案を提案し、出席された各委員より活発な議論・提案が行われました。  
28年度の活動方針は、アクセス解析によりステッカーの効果を検証し、ステッカーの効果が有効であれば、次のステップとして更なる情報発信方法を検討していくということで了承されました。

## 現地視察

### 防災委員会

翌日は、ハマチ養殖体験学習「マーレリック」江戸時代の商家建築「瀬戸内簡屋敷」を視察しました。



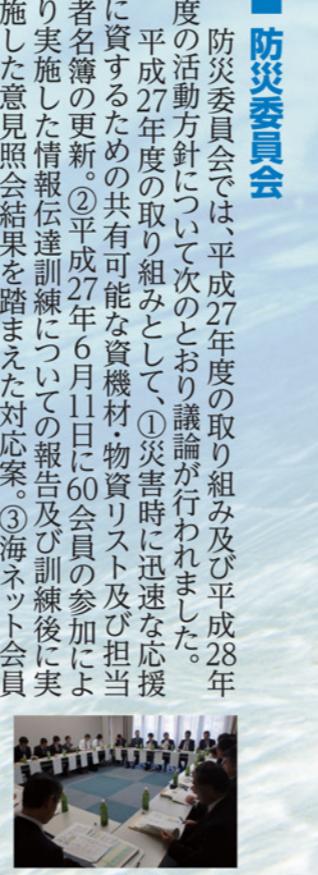
江戸時代の商家建築「瀬戸内簡屋敷」



ハマチ養殖体験学習「マーレリック」



「東かがわ手袋ギャラリー」のアート



防災委員会の様子

防災委員会では、平成27年度の取り組み及び平成28年度の活動方針について次のとおり議論が行われました。  
平成27年度の取り組みとして、①災害時に迅速な応援に資するための共有可能な資機材・物資リスト及び担当者名簿の更新。②平成27年6月11日に60会員の参加により実施した情報伝達訓練についての報告及び訓練後に実施した意見照会結果を踏まえた対応案。③海ネット会員が連携し実施する海の路を通じた防災訓練を支援する「防災対策推進活動支援事業」。以上3項目について事務局より報告があり、②については、対応案について次回以降の訓練に反映させることを確認しました。③については、本年度に制度創設後初の申請があり支援を実施したことの報告があり、今年度の残り期間においても「防災対策推進活動支援事業」の活用について引き続き実施することを確認しました。  
平成28年度の活動方針として、資機材・物資リスト及び担当者名簿の更新や、より多くの会員が参加可能となるよう訓練内容等の改善を行いました。また、委員会に出席された各会員より、各所属において実施している防災訓練についてご報告をいただき、情報の共有を図るとともに「防災対策推進活動支援事業」支援内容の検討を含め、更なる活用に向け、引き続き全ての海ネット協定締結会員に対し働きかけを行うことについて了承されました。

これまで環境事業委員会は、「リフレッシュ瀬戸内」と「海の健康診断調査」を、環境事業委員会の骨格事業として継続して実施しており、その目的は、多くの人が参加できる海岸清掃活動を通じ、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の取り組みの理解を深めることが目的であり、実質的な海岸清掃活動効果もさることながら、参加人数の維持拡大への働きかけは必須であることが確認され、来年度以降も引き続き開催することと了承されました。

「リフレッシュ瀬戸内」の参加人数は2年連続で減少しており、清掃奉仕活動というだけでは人を集めにくくなっている現状があるものと考えられます。このため、本年の担当者会では、昨年の議論で出された意見のうち、次の2点にリフレッシュ瀬戸内が今後目指す方向性のヒントがあると考え、これらを深掘りと、リフレッシュ瀬戸内25年を迎える平成29年度を目途に実施ベースに移すための検討を行いました。  
海ネットのロゴなどを使用した統一的なプロモーションの実施統一的なプロモーションについては、ほとんどの出席者から効果がある旨の発言があった一方、統一カラーを使用してのプロモーションについて過去配布タオルのカラーチェンジを検討した出席者から、コストについても経験を踏まえた指摘をいたくなど、具体化に向けた意見が交わされました。また、開催地「東かがわ市」が手袋の町であることにちなみ、ロゴ入り軍手の使用などの意見も出されました。

「単なる清掃」ではなく「笑顔を掴むための」取り組みの具体的な実施レベル検討  
・「楽しさ」「ワクワク感」が伝わるネーミングなど打ち出しの事例紹介  
・「未来を変えるゴミ袋プロジェクト」「〇〇ピクニック」  
・コミュニケーション強化ツールとして活用（「海岸の里親」としての意識付け）  
・子どもたちの継続参加の動機付けによる記念品の配布  
・まず海岸を使うことで、海岸美化への意識付けにつなげる。（ビーチサッカー等）



環境事業委員会の様子

用振興事業」、「海ネットサポート提案事業」により、会員間の連携による防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を推進することについて、了承されました。

## 環境事業委員会

### 環境事業委員会

### 環境事業委員会

# 環境事業委員会活動

## リフレッシュ瀬戸内の開催について 全体拠点地レポート

### 広島ブロック 広島県三原市

平成27年6月1日～8月31日の間、「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に23回目となる「リフレッシュ瀬戸内」を開催しました。今年度は瀬戸内海沿岸各地302箇所での開催となり、47,726人のボランティアの方々が参加し、355.93tのゴミを回収しました。

全体拠点地となつた広島県三原市では、実施日の7月5日にボランティアの方々約350人が参加し、1.2tのゴミを回収しました。

また、全体拠点地を対象とした環境関連行事との連携実施費用の一部支援を活用し、特に、子どもの参加を呼び込む効果的広報活動として、「稚魚放流」も併せて実施しました。

今後も、豊かな自然を受け継いでゆくため、この活動を継続していくたいと考えています。

## リフレッシュ瀬戸内 ブロック拠点地レポート

### 平成27年度リフレッシュ瀬戸内実施結果

府 県	ブロック拠点	実施箇所数	参加人数(人)	ゴミ収集量(t)	府 県	ブロック拠点	実施箇所数	参加人数(人)	ゴミ収集量(t)
大阪府	大阪市	6	1,342	4.50	徳島県	徳島市	7	3,278	14.86
兵庫県	姫路市	20	4,538	29.00	愛媛県	伊予市	92	6,876	83.17
和歌山県	和歌山市	8	939	11.60	周防灘 (山口県)		26	9,701	62.90
岡山県	瀬戸内市	10	3,230	12.30	周防灘 (福岡県・大分県)		11	3,163	17.50
広島県	三原市	38	7,394	60.60	合 計	—	302	47,726	355.93
香川県	東かがわ市	84	7,265	59.50					



清掃活動状況

**岡山ブロック(瀬戸内市)**



7月15日、延江海岸及び扇海岸において140人(大人135人子供5人)が参加し、0.2tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「この子たちが大人になったとき、今以上に美しい海岸であってほしいと思い、家族で参加しました。暑い中、作業は大変でしたが、子供たちにも自然を愛する気持ちが芽生えたのではないかでしょうか。」「毎年参加していますが、以前に比べ、ごみが少なくなっているように思います。広い海からみれば小さな活動かもしれませんのが、こうした積み重ねこそ大切だと思います。ぜひ今後も続けていきたいですね。」「虫明の海では古くから生き残っていますが、今回の活動には、私たち漁業者だけでなく様々な方が参加してくれました。励まされると同時に、自分たちも一層頑張らないといけないと決意を新たにしました時間でした。」

**兵庫ブロック(姫路市)**



6月28日、飾磨ふ頭周辺において220人(大人199人子供21人)が参加し、2.0tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「ポイ捨てのゴミが大半であるが、大量のゴミが投棄されている箇所があった。こういった場でもない限り清掃されないだろうから、良い機会だと思う。」「自動車に乗って通過しているだけでは気が付かないが、歩いてゴミを拾って集めてみると、こんなに多くのゴミが落ちているんだなと感じた。一人ひとりのモラルが大切ですね。」

**大阪ブロック(大阪市)**



6月27日に大阪南港野鳥園において40人(大人38人子供2人)が参加し、0.8tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「海にどんなごみがあるのか知れてよかったです。」「自然の中でごみ拾いができるよかったです。」



**三原市 全体拠点地**

**愛媛ブロック(伊予市)**



7月19日、市内海岸全域において585人(大人405人子供180人)が参加し、35.1tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「家族全員で参加して、掃除することで子供にいい経験をさせることができよかったです。」「実際に参加してみて、本当にいろんなごみが漂着しているのに驚いた。きれいな海を守るために、今後もこのような活動を続けていただきたい。」「台風のあとで、ごみは多かったが、その分ごみを多く集めることができ、達成感があった。」「みんなでそうじができる楽しかった。」

**和歌山ブロック(和歌山市)**



6月21日、加太海岸において150人(大人135人子供15人)が参加し、2.0tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「たくさんのごみを拾って、きれいになった。ごみのポイ捨てはやめてほしい。」「非常に熱かったが、いい汗がかけました。」「初めての参加だったが楽しく清掃ができた。」「大型のゴミが目立っていた。普段からゴミを持ち込まない努力が必要を感じた。」「自分の住む町がきれいになるので、これからも参加していきたい。」

**香川ブロック(東かがわ市)**



6月21日、市内海岸一円において2,097人(大人1,809人子供288人)が参加し、13.6tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「毎年参加している。海岸がリフレッシュできて気分がいい。」「暑かったけど、大勢でやったからあつという間にきれいになってしまった。」「会社で参加させてもらったが、予想以上の人出で驚いた。きれいにならうと思ふ。」

**徳島ブロック(徳島市)**



7月12日、小松海岸において800人(大人400人子供400人)が参加し、6tのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「今回で二回目の参加になります。子どもと一緒に参加しましたが、みんなと協力して大きなごみを運んだりしていて、子どもにとってとてもいい経験になったと思います。」「会社で参加させてもらったが、予想以上の人出で驚いた。きれいにならうと思ふ。」

## 海の健康診断調査を実施しました

環境事業委員会では、「ゴミを捨てない」、「ゴミを捨てない」といったゴミ排出抑制につながる予防的な取り組みを推進させるために、平成14年度から瀬戸内海沿岸地域の美化活動「リフレッシュ瀬戸内」と連携して、国際ビーチクリーンアップキャンペーんで実施されている手法を取り入れた「海の健康診断調査」(ゴミの組成調査)を実施しています。

平成27年度は全ブロック中11箇所において調査を実施しました(伊予市は同一市内で実施のため、1箇所として整理)。なお、実施箇所及び実施結果につきましては、以下のとおりです。

素材別に見ますとプラスチック類と発泡スチロール類が全体的に多く、過去と同様の結果が得られました。(プラスチック率85.1%)これまでの継続的な調査により、ゴミの地域特性が明らかになっており、瀬戸内海に住む人々のゴミに対する意識向上に役立てていきたいと考えております。

今後も調査を継続していくことによって、

瀬戸内海全体で共通するゴミ、各地域の特徴的なゴミを情報発信し、ゴミ排出抑制への啓発活動に役立て、美しい瀬戸内海を次に世代に継承していく取り組みに繋げていきます。

## 魅力検討委員会活動

### 瀬戸内のブランド化に向けた官民連携活動(海ネットサポーター提案事業)

官民連携による瀬戸内の新たな賑わいを創出するため平成23年度に制度化された「海ネットサポーター」は、設立当初の55団体から82団体(平成28年1月時点)にまで拡大しています。

「海ネットサポーター提案事業」は、行政である会員と民間の海ネットサポーターが連携した瀬戸内のブランド化に向けた地域振興への取り組みに対して支援を行うものであり、平成27年度は1件の事業を実施しました。

### 海浜清掃・稚魚放流イベント

開催日 平成27年7月18日

開催場所 長田海岸(山口県周南市)

参加者 保育園児年長児21人と保護者など

会員及び海ネットサポーター名 周南市一般社団法人山口県周南清港会

周南市の長田海岸で海浜清掃・稚魚放流イベントを行いました。長田海岸周辺のゴミ回収・分別作業を実施した後、地元特産のトラフグの稚魚2000匹をファッシャリーナ内への放流を実施しました。

専門家から放流魚の説明を受けた後、子供たちは「大きくなつて帰つて



海面清掃船実演



稚魚放流イベント

きてね。」と言いながら稚魚を放流しました。また、山口県所有の海面清掃船「太華」も来場し、海面清掃作業を行うと、その能力に参加者の方々は驚いていました。

当イベントを通して日頃ふれることのない清掃船の作業を見学することで、その仕事と海の美化の大切さを知つてもらうことができました。

## 魅力検討委員会活動

### 瀬戸内のブランド化に向けた官民連携活動(海ネットサポーター提案事業)

官民連携による瀬戸内の新たな賑わいを創出するため平成23年度に制度化された「海ネットサポーター」は、設立当初の55団体から82団体(平成28年1月時点)にまで拡大しています。

「海ネットサポーター提案事業」は、行政である会員と民間の海ネットサポーターが連携した瀬戸内のブランド化に向けた地域振興への取り組みに対して支援を行うものであり、平成27年度は1件の事業を実施しました。

### 海浜清掃・稚魚放流イベント

開催日 平成27年7月18日

開催場所 長田海岸(山口県周南市)

参加者 保育園児年長児21人と保護者など

会員及び海ネットサポーター名 周南市一般社団法人山口県周南清港会

周南市の長田海岸で海浜清掃・稚魚放流イベントを行いました。長田海岸周辺のゴミ回収・分別作業を実施した後、地元特産のトラフグの稚魚2000匹をファッシャリーナ内への放流を実施しました。

専門家から放流魚の説明を受けた後、子供たちは「大きくなつて帰つて



ブロック	海岸名	参加者からの意見
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	一般ボランティアに自然を感じてもらしながら、海のゴミについて知ってもらえてよかったです。秋頃にできれば、熱射病等に気を付ける必要が減るかも。
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	砂浜の場合、ほとんどが砂に埋まっている状態のゴミがあり、目視では見つけにくいものがある。
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	昨年との相違を確認することが出来よかったです。
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	ゴミの組成や分布について、全体を把握するきっかけになった。
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	調査により各海岸のゴミの状況が把握できるため、市民の問い合わせに対して正確な情報を伝えることができる。
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(的場海岸)	
岡山ブロック	倉敷市(沙美海岸)	
大阪ブロック	大阪市(大阪南港野鳥園)	
和歌山ブロック	和歌山市(加太海岸)	
周防灘ブロック(山口・福岡・大分)	岩国市(青木海岸)	
徳島ブロック	徳島市(小松海岸)	
愛媛ブロック	伊予市(森海岸)	
香川ブロック	坂出市(沙弥西の浜)	
広島ブロック	竹原市(	

## 新たな支援制度 (海ネットイベント プランコンテスト)

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域

文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上など、オリジナリティ溢れる地域活性化イベント等への支援を拡充するため創設された新たな支援制度「海ネットイベントプランコンテスト」は、事前に企画した瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを会員から募集し、コンテスト形式より支援対象イベントを決定するものであり、継続的に実施しているイベントの発展、目的意識の明確化、会員間の情報交換の促進などの効果も期待するものです。

多くの会員から応募のあった平成27年度の各イベント企画のなかから海ネット協議会会員の審査により各賞に選ばれたイベントが行なわれました。

### 姫路港ふれあいフェスティバル (夏版・秋版)



会員 兵庫県  
開催日 平成27年7月20日、10月25日  
内容 姫路港飾万津臨港公園において開催している県民参画型イベント。姫路の特産品やご当地グルメを提供する「ふれあいスクエア」や、地元の幼稚園、小・中学校、地域団体によるダンスや演奏を披露する「ふれあいポートステージ」、海で活躍する船の一般公開する「マリンフェスタ」などを実施。海ネット重点目標「地域防災力の向上」の啓発に資する海上保安庁や防災士会の活動展示も行なった。



参加者(来場者数) 約7,000人(夏版)

#### イベントプランコンテスト プレゼンの様子



最優秀賞 松山市さん

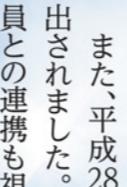


優秀賞 湯浅町さん



奨励賞 福山市さん

### 松山市(愛媛県) さあ釣りを始めよう!ファミリー教室 in 中島 湯浅町(和歌山県) 紀州湯浅のギョギヨツとお魚まつり ふくやま港まつり2016



また、平成28年度のイベント企画に対しても応募を募り、会員による審査により受賞対象企画が選出されました。これらの企画に対しては、平成28年度に海ネット協議会より支援するとともに、他の会員との連携も視野に積極的な広報を図ることとしています。

## 瀬戸内海おさんぽクルーズ



### 深日港フェスティバル



会員 防府市(山口県)  
開催日 平成27年10月10日、10月21日  
内容 離島(野島)と本土(三田尻)を結ぶ定期船「レインボーアカネ」の検査入渠を利用した募集型企画旅行イベント。現在は使われなくなった瀬戸内海・海の路を使って、防府市野島からレインボーアカネの母港(造船所)まで、通常の航路ではめったに行なうことのできない島々に立ち寄りながら、多島美・多橋美を誇る瀬戸内海を堪能する約9時間のクルーズツアー。



参加者(来場者数) 10月10日：49人、  
10月21日：50人

参考：参加者(来場者数) 約5,000人

会員 岬町(大阪府)  
開催日 平成27年6月28日  
内容 南大阪地域と淡路島、四国の玄関口として賑わいを見せた深日港の活性化と、かつて航路として結ばれていた淡路島との交流を図るため、平成24年度より開催しているイベント。

チャーター船で淡路島を結ぶ観光ツアーや淡路島の特産品販売や防災啓発のコーナーを設けるとともに、大阪湾で活躍する船舶への体験乗船会を開催。アンケートで参加者意見を聞き取り。



会員 岬町(大阪府)  
開催日 平成27年6月28日  
内容 南大阪地域と淡路島、四国の玄関口として賑わいを見せた深日港の活性化と、かつて航路として結ばれていた淡路島との交流を図るため、平成24年度より開催しているイベント。

チャーター船で淡路島を結ぶ観光ツアーや淡路島の特産品販売や防災啓発のコーナーを設けるとともに、大阪湾で活躍する船舶への体験乗船会を開催。アンケートで参加者意見を聞き取り。

会員 岬町(大阪府)  
開催日 平成27年6月28日  
内容 南大阪地域と淡路島、四市の玄関口として賑わいを見せた深日港の活性化と、かつて航路として結ばれていた淡路島との交流を図るため、平成24年度より開催しているイベント。

チャーター船で淡路島を結ぶ観光ツアーや淡路島の特産品販売や防災啓発のコーナーを設けるとともに、大阪湾で活躍する船舶への体験乗船会を開催。アンケートで参加者意見を聞き取り。

会員 岬町(大阪府)  
開催日 平成27年6月28日  
内容 南大阪地域と淡路島、四市の玄関口として賑わいを見せた深日港の活性化と、かつて航路として結ばれていた淡路島との交流を図るため

# 防災委員会活動

## 海ネット協定に基づく情報伝達訓練を実施しました

平成27年6月11日、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定(海ネット協定)」の実行性確保を目的とし、協定締結会委員60市町村の参加のもと、情報伝達訓練を実施しました。

今回の訓練では、前回(平成26年6月3日実施)訓練時の課題に対応するため、応援とりまとめ幹事のサポートを行う応援とりまとめ幹事(副)を新たに追加し、応援とりまとめ幹事の作業負担の軽減に努めました。また、支援物資搬入経路の省略や支援物資品目数を限定(5品目)したことに加え、マッチング様式を改善することで、支援物資のマッチング作業時間の短縮にも努めました。

更に、連絡・通信手段のトラブル解消として、限定使用していた通信機器を衛星通信機器及びFAXから、一般電話及びPCメールへ変更しました。

この取組により前回訓練時に比べ、応援とりまとめ幹事の作業負担が軽減され、訓練時間については若干の改善が図られましたが、支援物資のマッチングに関しては、地域ブロックを超えた支援物資の要請に対し、地域ブロック外の応援会員からの支援に対するマッチングを行ううえで優先すべき項目の設定など、マッチングのルール作りが必要との新たな課題についても確認することができます。海ネット協定の実行性の確保に繋がる訓練となりました。

また、訓練後に実施したアンケート調査では、訓練実施日や時間配分に関することや訓練時の役割分担等について多数のご意見が寄せられました。

平成28年度の訓練については、スマートな支援物資のマッチングが可能となるようマッチングルールの検討を行うと共に、訓練時間の短縮や、全員が各役割を経験できるよう訓練メニューを検討し、更なる実行性の確保に向けた訓練を実施していきたいと考えております。

### 「防災対策推進活動支援事業」を活用した初の共同訓練を実施しました

防災委員会では、災害対策基本法に基づき、地域防災計画等により位置づけされている緊急物資輸送ルート等、陸路を活用した「防災訓練」のみならず、海の路を通じた人員・物資輸送ルート、被災者の緊急搬送ルート等を確認するための「協同防災訓練」を複数の海ネット会員による連携のもと実施し、会員間で結果を共有することで、防災ネットワーク機能の強化、協定締結会員の拡大を図るとともに、海ネット協定の実行性の確認を更に進めていくことを目的として、「防災対策推進活動支援事業」制度を平成25年に創設しました。

平成27年9月2日に行われた広島県・広島市主催の「平成27年度総合防災訓練」の訓練項目の一つである「緊急物資配送訓練」において本制度を活用し、創設後初めての支援を行いました。

「緊急物資配達訓練」は、地域防災計画等により位置づけられている県の防災拠点から3市(広島市、江田島市、福山市)のそれぞれの緊急物資輸送拠点を経由し各地の避難所へ緊急物資を輸送する訓練で、そのうち県の防災拠点から江田島市の救援物資輸送拠点施設へ海の路を活用し、フェリー(江田島汽船)による海上輸送訓練(広島県の広島港から江田島市の三高港へ輸送)について江田島市より制度活用の要請がなされたものです。

今回を皮切りに、今後も多数の支援事業の活用が図られるよう積極的な周知を行うことで、海ネット協定の更なる実行性の確保に努めて参りたいと考えております。



③救援物資輸送拠点施設(江田島市スポーツセンター)での物資受入れ状況



①調達物資をトラック協会4t車へ積荷

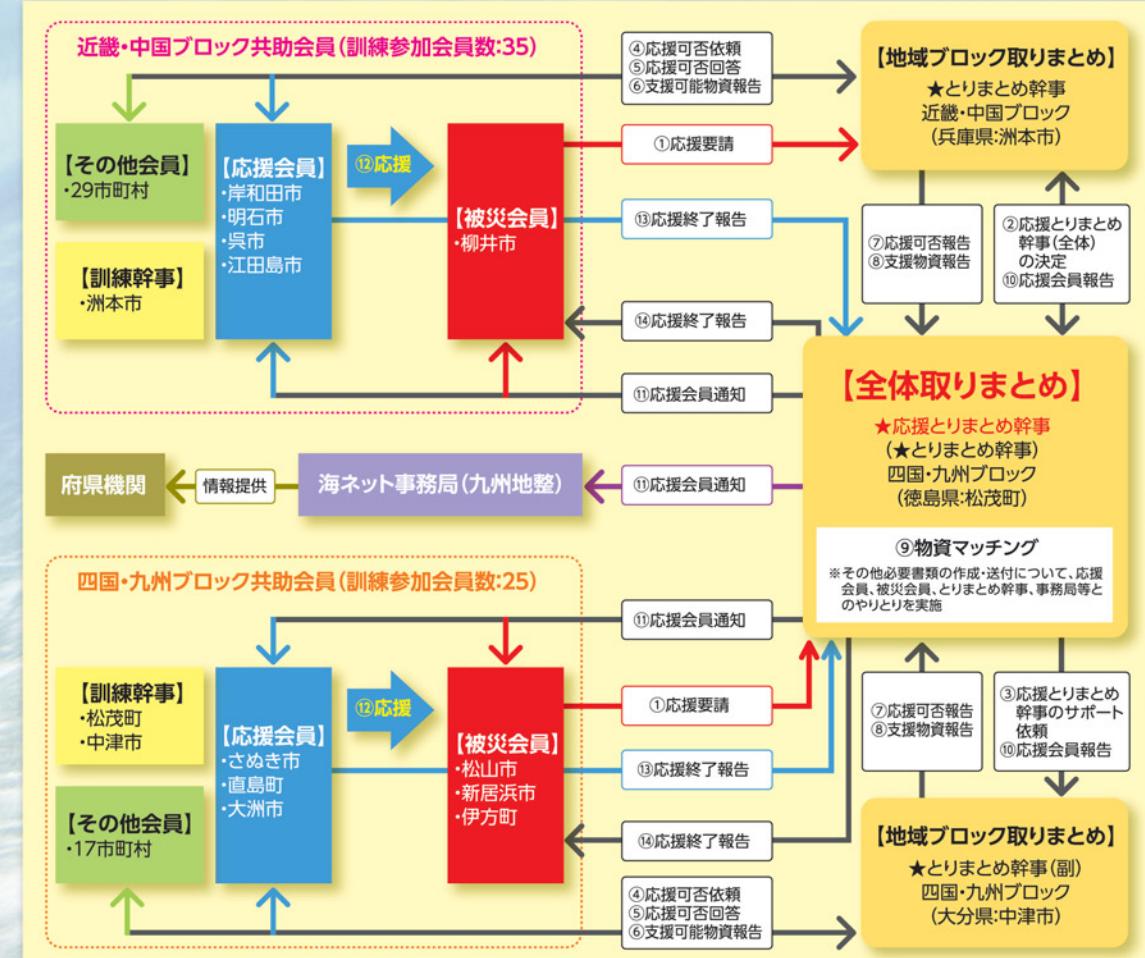


④各避難所への救援物資の仕分け・積荷・配送状況



②海上輸送訓練の状況(広島港⇒三高港)

### ■平成27年度 海ネット協定に基づく情報伝達訓練実施フロー



# 情報発信委員会活動

## Webサイト「海の路」PR用 ステッカーを作成しました

情報発信委員会では、Webサイト「海の路」を通じて瀬戸内の魅力を更に広めていくよう「海の路」PR用のステッカーを作成しました。まずは、Webサイトの閲覧状況等を確認するため、アクセス解析を行った結果、閲覧回数は前年度と同じ時期に比べ多くなったものの、閲覧者数が減っているということに着目し、より多くの方がWebサイト「海の路」を認識・活用していただける方法を検討しました。

現在、訪日外国人観光客や国内旅行者が大幅に増えているなかで、多くの方が瀬戸内を訪れた際に、いつでも簡単に利用できるよう昨年度はスマートフォンやタブレットの専用サイトを開発し、その結果、スマートフォンやタブレットを利用した閲覧者が増加しています。

今年度はWebサイト自体をより多くの方に知っていただき、更に利用していただくため、PR用のステッカーを作成し、旅行者が多く訪れる観光スポットや施設に貼ることで、旅先でのアクセス・認識の拡大を試みました。

今後は、ステッカーのPR効果を検証するため、Webサイトのアクセス状況の解析を継続して行い、より効果的な情報発信方法を検討・提案し、今後更に瀬戸内の魅力や興味をもつて貰えるような情報発信を目指していきます。

# 瀬戸内海活性化活動支援報告

## ネットワーク活動支援

### ①広島・江田島 船フェスタ

パイロットグループ／広島市、江田島市

実施時期／平成27年5月17日(日)

実施概要／各港周辺や島嶼部のにぎわい創出と航路の活性化や地域の交流・発展を図ることを目的として、「港と航路の一体的なエリアの賑わい」をテーマに、公共交通や観光に関連する企業・団体や行政関係者などが連携して、広島港及び江田島市・三高港などで航路や島の魅力をPRするイベントを開催しました。主な内容としては船長体験・カヤック体験・音楽隊による生演奏・クイズラリー・ヨーヨー釣り等のイベントが開催されました。操舵室見学など、普段触れる機会のない子どもたちも喜んでいました。



### ②中四国・瀬戸内クルージングサミット

パイロットグループ／三豊市、新居浜市、福山市、高松市、瀬戸内市

実施時期／平成27年7月～平成28年1月

実施概要／平成28年度のクルージングツアー実施を目指し、企画・検討をする場として検討会を開催しました。平成28年度に市制100周年を迎える福山市でのサミット開催に併せて、構成市を巡るモニタツアーアイテムを企画しました。5市の地域資源を活かしたオリジナルツアーを企画していく中で、アドバイザーとして民間旅行会社に入ってもらい、モニタツアーアイテムの規模や内容、ターゲットへの効果的な発信等についてアドバイスをいただき、より魅力的な商品にするため協議を重ねました。



### ③広島みなとフェスタ

パイロットグループ／広島市、今治市

実施時期／平成28年3月12日(土)～13日(日)

実施概要／港の魅力を広く一般市民に発信するため、広島港を中心とした大規模なイベントを開催しました。今回は今治市と協働し、今治市のご当地キャラクター「パリィさん」も来場し、盛り上がりしました。当日は様々なイベントが開催され、新たな取り組みとして「コンテナターミナル見学会」を企画し、バスとフェリーを利用し陸と会場からターミナルを見学し、港の大切な役割について知つてもらう事が出来ました。二日間で約65000人が来場し、大変賑わいました。



## 個別活動支援

### ①ふくやま港まつり2015

会員名／福山市

実施時期／平成27年11月14日(土)、15日(日)、17日(火)

実施概要／平成27年11月14日・15日・17日に、福山港国際コンテナターミナルにて「ふくやま港まつり2015」が開催されました。港湾荷役事業者による大型荷役機械のデモや展示・試乗を行う「港で働く巨大マシンデモ」の実施や、港湾関係官庁および企業等による展示ブースなど、港の仕事や役割などについて官民一体となってPRしました。当日の催し物としては、帆船「海王丸」を招致してのイベントが行われたり、港の見学会等が行われました。「港の見学会」は今回が初めてのイベントとなりましたが、定員を上回る参加希望があり、大変好評を得るものとなりました。3日間で多くの集客があり、大変にぎわったイベントとなりました。



### 瀬戸内?だったら、まずここを見なくちゃ!



### 次の休みは、瀬戸内のどこに行こうかな。



### まだまだこんなにあるよ! 瀬戸内のオススメ!



### 瀬戸内のいろんな情報がメガ盛り!



## ⑤「シルバーディスカバラ」寄港歓迎イベント

会員名／北九州市

実施時期／平成27年9月8日(火)

実施概要／平成27年9月8日、客船「シルバーディスカバラ」が北九州港に寄港しました。乗客の人たちはアメリカ・イギリス国籍の方が多く、日本の伝統文化に興味を持たれており、グリーンティのふるまい、琴・尺八のエクスカーションは好評を得ていただきました。琴・尺八の演奏ではCool Japan!との声かけがあったり、多くの方が写真を撮影していく大変賑わいをみせました。



グリーンティのふるまい

琴・尺八の演奏

## ⑥「シルバー・ディスカバラ」寄港歓迎イベント

会員名／岡山県・玉野市

実施時期／平成27年9月10日(木)

実施概要／平成27年9月10日クルーズ客船「シルバー・ディスカバラ」が乗客約80名を乗せて宇野港へ初寄港しました。大型客船の寄港は宇野港宇野地区のにぎわい創出と、県内の観光振興につながることから、入港時に歓迎セレモニーや歓迎演奏を実施し、岡山県ひいては瀬戸内海全域の振興を図りました。



歓迎式

歓迎演奏

## ⑦「シルバー・ディスカバラ」寄港歓迎イベント

会員名／香川県

実施時期／平成27年9月12日(土)～13日(日)

実施概要／平成27年9月12日、客船「シルバー・ディスカバラ」が高松港に寄港しました。ゆるキャラによる観光ツアーお見送り、高校生との書道体験、書道パフォーマンス、さぬき踊りパフォーマンス等の歓迎アトラクションで乗船客・乗組員に対し歓迎行事を実施しました。寄港日が土曜日・日曜日であったことから、多くの方で賑わいました。また乗船客の方々は、地元の人と交流できる機会を楽しんでいました。



書道体験

さぬき踊りパフォーマンス

## ⑧「ぱしふいいくびいなす」寄港歓迎イベント

会員名／小豆島町

実施時期／平成27年9月16日(水)

実施概要／平成27年9月16日、客船「ぱしふいいくびいなす」が小豆島に寄港しました。寄港歓迎行事として地元保育園児による鼓笛の演奏及び上陸記念品の手渡し、また地元関係者によるオリーブドーナツのお接待、観光案内所の開設を行いました。当イベントを通して、小豆島における賑わいの創出及び今後の地域振興につなげることができました。



鼓笛の演奏

臨時特産物売店

## ⑨「セレブリティ・ミレニアム」出港お見送りイベント

会員名／広島県

実施時期／平成27年10月10日(土)

実施概要／平成27年10月10日、客船「セレブリティ・ミレニアム」が広島に初寄港しました。出港時のお見送りイベントとして書道パフォーマンス、吹奏楽団演奏を行いました。出港時、客船のデッキには乗客乗員が出てきては盛り上がり、非常に喜ばれていました。



書道パフォーマンス

吹奏楽団による演奏

## クルーズ船等 寄港地歓迎イベント支援

### ①「ロストラル」入港歓迎式典

会員名／岩国市

実施時期／平成27年4月4日(土)

実施概要／平成27年4月4日、岩国港入港を記念して、岩国港関連団体を中心に行政・経済団体・市民が連携し、入港時に歓迎放水を、停泊中には物産展や体験イベントを、出港時には花火の打ち上げ等を行いました。当船への歓迎の意を伝えるとともに、会場を一般開放し、市民にも気軽に港やクルーズ船に親しんでもらうことで、岩国港の魅力向上、ひいては瀬戸内海地域の更なる振興・PRが図られました。



習字体験

お見送り

### ②「にっぽん丸」尾道糸崎港寄港歓迎行事

会員名／三原市

実施時期／平成27年4月5日(日)

実施概要／当該クルーズは、博多港を出発して春の八丈島と瀬戸内の桜をめぐるクルーズで、豪華客船の尾道糸崎港への寄港は平成25年5月(ふじ丸寄港)以来となりました。客船寄港に合わせて地元伝統芸能の披露(和太鼓演奏・やっさ踊り)や、臨時飲食店設置等でおもてなし、寄港歓迎行事・送別行事を行うことで、広島県東部地域、ひいては瀬戸内海全域のさらなる振興・PRを図りました。



和太鼓演奏

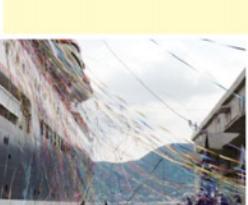
やっさ踊り

### ③客船「にっぽん丸」「ぱしふいいくびいなす」入出港歓迎行事

会員名／下関市

実施時期／平成27年8月13日(木)・14日(金)

実施概要／平成27年8月13日に開催された関門海峡花火大会に併せて、客船「ぱしふいいくびいなす」が「阿波踊りと関門海峡花火クルーズ」として、客船「にっぽん丸」が「濟州島と海峡花火・阿波踊りクルーズ」として、下関に入港しました。寄港に併せて歓迎式典等おもてなし行事を各種実施し、下関港の魅力向上、瀬戸内海地域のさらなる振興・PRを図りました。



マスクキャラクターとの記念撮影

投げ入れられる紙テープ

### ④「にっぽん丸」出港歓送行事

会員名／兵庫県・姫路市

実施時期／平成27年8月20日(木)

実施概要／平成27年8月20日、姫路港に「にっぽん丸」が寄港しました。姫路市消防音楽隊による演奏、地元のゆるキャラやミュージカル劇団による歌とダンスの披露が行われました。お見送りには、旅行者の家族や関係者のみならず、一般市民も含め約150人が集まりました。



ゆるキャラと子どもミュージカル劇団による歌とダンス

出港の様子

## 後援活動報告

### ①マリン・グラン・フェスタ2015

日時：平成27年4月11日（土）～12日（日）  
場所：広島観音マリーナ（広島市）  
主催：広島ボートショー実行委員会・海の駅ネットワーク・国土交通省中国運輸局・第六管区海上保安本部  
概要：海事思想の普及、舟艇産業の振興、安全なマリンレジャーの推進や地域活性化を促進するため、ボートの体験乗船会やセミナー、ボートの陸上展示などのイベントが行われ、多くの人々が集まりました。

### ②「地方創世を考える」特別講演会

日時：平成27年6月4日（木）  
場所：リーガロイヤルホテル広島  
主催：中国地方整備局  
概要：「財政」「港湾」それぞれの分野を専門とする講師を招き、多方面から総合的に地方創世について考え、今後の取り組みに活かしていくため関係者をはじめ広く一般を対象に講演会を開催しました。

### ④全国公募展 第3回「瀬戸内の魅力」 フォト&メッセージ「100選」

日時：平成27年8月20日（木）～平成28年12月31日（土）  
【作品募集】平成27年8月20日（木）～平成28年1月12日（火）  
場所：神戸海洋博物館ホール  
主催：瀬戸内海観光連携推進会議  
概要：瀬戸内海地域の観光活性化への取り組みの一つとして、瀬戸内海の島々等に寄港するクルーズの推進を目指し、クルーズ客船寄港の意義や寄港のためのおもてなしの方策について、地域が検討する「助となることを目的としたセミナーを開催しました。

### ③瀬戸内クルーズセミナーin神戸

日時：平成27年10月27日（火）  
場所：神戸海洋博物館ホール  
主催：瀬戸内海観光連携推進会議  
概要：瀬戸内海地域の観光活性化への取り組みの一つとして、瀬戸内海の島々等に寄港するクルーズの推進を目指し、クルーズ客船寄港の意義や寄港のためのおもてなしの方策について、地域が検討する「助となることを目的としたセミナーを開催しました。

### ②「地方創世を考える」特別講演会

日時：平成27年6月4日（木）  
場所：リーガロイヤルホテル広島  
主催：中国地方整備局  
概要：「財政」「港湾」それぞれの分野を専門とする講師を招き、多方面から総合的に地方創世について考え、今後の取り組みに活かしていくため関係者をはじめ広く一般を対象に講演会を開催しました。

### ⑩にっぽん丸入港・出港セレモニー

会員名／防府市  
実施時期／平成28年1月7日（木）  
実施概要／平成28年1月7日、三田尻中関港にて「にっぽん丸入港・出港セレモニー」が開催されました。入港歓迎セレモニーの実施や、観光案内デスクの設置、少年少女合唱団による「サウンド・オブ・ミュージック」合唱等を行いました。合唱は乗客から大きな拍手と歓声があり好評でした。



少年少女合唱団による合唱

観光案内デスク

## クルーズ船誘致活動

### ①平成27年度『クルーズせとうち』セミナー

会員名／広島県  
実施時期／平成27年11月19日（木）  
実施概要／平成27年11月19日、東京都の都道府県会館にて、船会社や旅行代理店を対象としたセミナーが開催されました。瀬戸内クルーズのさらなる振興を目的とし、広島県・神戸市・岡山県・玉野市・香川県・北九州市が連携して取り組みを行っています。



セミナーの様子

### ②クルーズセミナーinおかやま

会員名／岡山県  
実施時期／平成28年1月11日（月）  
実施概要／宇野港をはじめとした岡山県内の港へのクルーズ客船誘致活動の一環として、県民に対してクルーズ旅行の魅力発信を目的にセミナーを開催しました。セミナーでは主にクルーズ旅行初心者を対象として、岡山県から宇野港のクルーズ船寄港についての紹介、クルーズ船社等から国内外船のクルーズ船による旅行の魅力、また、地元旅行代理店より岡山から発着するクルーズ旅行の魅力についてそれぞれ講演を行いました。



マーキュリートラベル「外国船によるクルーズ旅行の魅力」

### ③『客船フェスタ2016』

会員名／神戸市  
実施時期／平成28年3月5日（土）  
実施概要／平成29年の神戸港開港150周年を来年に控え、市民の皆様にクルーズや港に、親しみや魅力を感じていただくとともに、乗船客の皆さまを神戸ならではのおもてなしで歓迎するため、外国客船「セブンシーズ・ボイジャー」の入港にあわせ、神戸ポートターミナルにて『客船フェスタ2016』を開催しました。当日はクルーズ旅行の楽しさを伝えるクルーズセミナーや、出港時のお見送りイベントとして和太鼓演奏、プラスバンド演奏が行われ、とても賑わいました。



高校生による和太鼓演奏

クルーズセミナー



# 第9回 瀬戸内海首長サミット

「クルーズ振興のための連携促進に向けて」

平成27年5月22日 広島県福山市

●瀬戸内海首長サミット参加市町村



国土交通省大臣官房審議官  
松原 裕

国に公開訓練船「いっぽん丸」や「海王丸」がある。申し込んでいただければ記念行事等に船を出すことも可能である。多くの方に海や港と触れ合っていただくために、クーズとシーズンとをうまく掛け合わせた仕組みが出来れば海ネットの参加意義が高まると考える。



防府市長  
松浦 正人

クルーズ振興のためには海ネットとして今一歩踏み込んだ展開が必要。例えば、海ネット加盟の107団体の一一番売りの時期を整理し、瀬戸内クルーズとして民間に企画させ現実的に実行していく。災害協定を結んだようにクルーズ協定を作り上げることが出来れば、新たな魅力となるのではないか。



周防大島町長  
椎木 巧

海を利用した観光に力を入れていきたい。大型の港湾施設から、観光バスの利用や、小型クルーザーに乗り換えて島巡りというような観光も可能である。是非、そのような連携を行ってみたい。



大竹市長  
入山 欣郎

駅や高速道路まで近く交通の便が良い大竹港は、駅や高速道路まで近く交通の便が良い大竹港は、クルーズ船の寄港地として活用できる可能性がある。寄港後に、季節や時間帯に応じた各地の魅力を楽しめるようなツアーリングを連携して企画できれば、新たな魅力となるのではないか。



江田島市長  
田中 達美

江田島市では、現在、修学旅行生の誘致に取り組んでおり、中山間地域へ情報を発信するなど、船に乗ることが非日常的な人々にも瀬戸内の良さを知ってもらわなければと思う。海田大橋、海田湾を活用して災害派遣等に役立てていきたい。



海田町長  
山岡 寛次

それぞれの地域の特産品に付加価値を付けることで、国外だけでなく国内の人々にも瀬戸内の良さを知ってもらわなければと思う。海田大橋、海田湾を活用して災害派遣等にも使って、まずは船やクルーズに目を向けてもらおう事が先決である。



坂町長  
吉田 隆行

クルーズ船の各港への寄港情報を一元化することで、地域間交流イベントや既存の観光資源を組合せ、積極かつ独創的な周遊ルートの提案が可能になり、瀬戸内の観光をより多様化させることで、さらに高い経済効果が期待できる。そのためには、各市町がPRしていくことが必要不可欠である。



小村 和年

瀬戸内海クルーズの議論は尽くしてきており具体化のための行動を起こしていくべき。クルーズは事業が定着し採算がとれるまで時間がかかるが、寄港地の自治体が金銭的負担や参加者集めに責任をもつなどの事をしなければ前には進まない。



天満 祥典

外国の山間部からの観光客は瀬戸内の素晴らしい興味を持つ人が多いと感じる。また、世界中の人の瀬戸内に呼び込むことで経済の好転が期待できる。例えば広島空港に来られた外国人の方々を海の見える場所まで呼び込めば、瀬戸内に盛り上がりを見せるのではないか。



尾道市長  
平谷 祐宏

瀬戸内海の時代のが到来してきた今こそ、国外に瀬戸内海の魅力を発信していくことが重要である。観光地と寄港地が一体となって連携を行い、瀬戸内に活気のあるインバウンド効果があらわれるようしていく必要がある。



福山市長  
羽田 皓

瀬戸内が誇る多島美を世界に発信できるということは共通の認識である。外国のインバウンドに対して、例えば食であったり、日本らしさを取り込んだ商品開発・企画が必要であり、それらは各市町協働して取り組むべき課題である。



笠岡市長  
三島 紀元

寄港地や周辺地域を含めて経済効果を波及させるには、寄港地での停泊時間の延長や、小型クルーズの乗り換えといった発想が大事。また各市町のお互いの良さを引き合わせて一貫性のある寄港地観光も必要。行政だけでなく民間や専門家も交えた取り組みが必要。



中国運輸局長  
河田 守弘

ゴールデンルートに続く次なる広域周遊ルートの創設に力を入れている。各自治体や国の出先機関とも連携しながら、インバウンド観光振興に力を注いでいきたい。また、クルーズ船の大型化に伴う2次交通の問題として、船を用いた2次交通も有効であると考える。



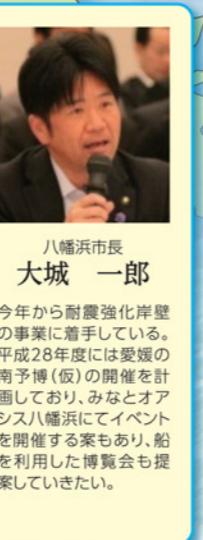
大阪大学大学院教授  
赤井 伸郎

日本人なのか外国人なのか、ターゲットの対象者を明確にして施策を行うべき。寄港する多くの人に対しても多様化したオプショナルツアーがあれば、より多くのニーズに応えることができヒット商品も生まれる。市町村が連携を組み戦略を図れば、瀬戸内に観光客を取り込めるのではないか。



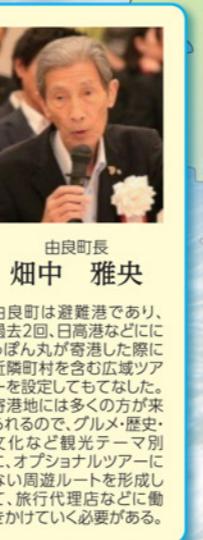
宍道町長  
吉廣 啓子

宍道町では、臨海工業地帯の産業観光として、工場夜景ツアーの取り組みを始めたところであるが、クルーズ振興の取り組みはまだスタートラインである。今後、地域の観光資源の掘り起こしを図り、観光周遊ルートの形成、そして将来的にはハード整備にもつなげていけたらいいと思う。



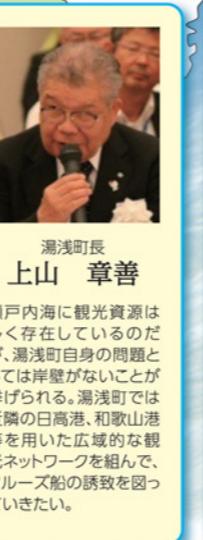
中津市長  
新貝 正勝

瀬戸内海のクルーズがヨーロッパにおける地中海クルーズのようになれば良い。大河ドラマ軍師官兵衛の影響で中津港にクルーズ船が来るようになり、観光面で進展が見られた。瀬戸内海におけるクルーズ振興に重点を置いてみんなどに動きかけていく必要がある。



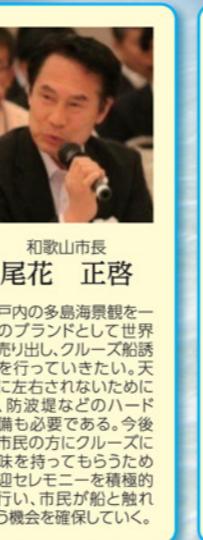
八幡浜市長  
大城 一郎

今年から耐震強化岸壁の事業に着手している。平成28年度には愛媛の南予博(仮)の開催を計画しており、みなどアシス八幡浜にてイベントを開催する案もあり、船を利用した博覧会も提案していく必要がある。



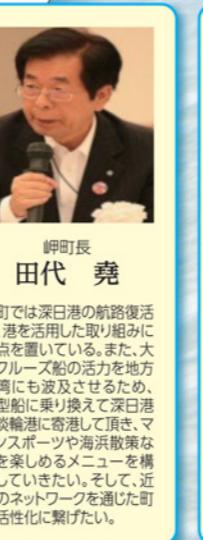
由良町長  
畠中 雅央

由良町は避難港であり、過去2回、日高港などににっぽん丸が寄港した際に近隣町村を含む広域ツアーリングを設定してみては、防波堤などのハード整備も必要である。今後も市民の方にクルーズに興味を持ったもうらため歓迎セレモニーを構築していくため、市民が船と触れあう機会を確保していく。



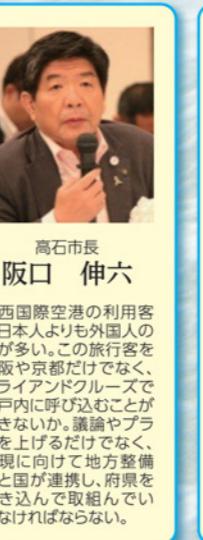
湯浅町長  
上山 章善

瀬戸内海に観光資源は多く存在しているのだが、湯浅町自身の問題としては岸壁がないことが挙げられる。湯浅町では近隣の日高港、和歌山港等を用いた広域的な観光ネットワークを組んで、クルーズ船の誘致を図っていく。



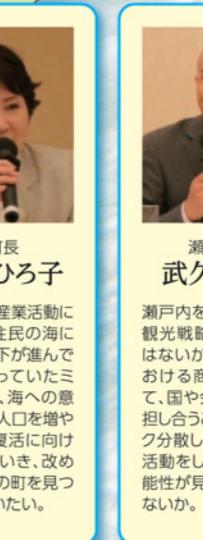
和歌山市長  
尾花 正啓

岬町では深日港の航路復活等、港を活用した取り組みに重点を置いている。また、大型クルーズ船の活動力を地方港湾にも波及させるため、小型船に乗り換えて深日港や淡路港に寄港して頂き、マリンスポーツや海浜散策などを楽しめるメニューを構築していく。そして、近隣のネットワークを通じた町の活性化に繋げたい。



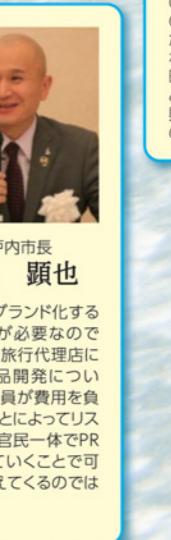
岬町長  
田代 喬

岬町は深日港の航路復活等、港を活用した取り組みに重点を置いている。また、大型クルーズ船の活動力を地方港湾にも波及させるため、小型船に乗り換えて深日港や淡路港に寄港して頂き、マリンスポーツや海浜散策などを楽しめるメニューを構築していく。そして、近隣のネットワークを通じた町の活性化に繋げたい。



播磨町長  
阪口 伸六

播磨町は港を産業活動に用いており、住民の海に対する意識低下が進んでいる。以前行っていたミニクルーズを、海への意識付けや交流人口を増やすために、復活に向けて取り組んでいき、改めて海から自分の町を見つめ直してもらいたい。



瀬戸内市長  
武久 顯也

瀬戸内をブランド化する観光戦略が必要なのでないか。旅行代理店における商品開発について、国や会員が費用を負担し合うことによってリスク分散し、民官一体でPR活動をしていくことで可能性が見えてくるのではないか。

※出席者の役職名は平成27年5月22日現在です。